



青山 典生 先生

略歴

- 2006年 東京医科歯科大学 歯学部 卒業
- 2007年 東京医科歯科大学 歯学部附属病院 研修歯科医 修了
- 2010年 日本歯周病学会 認定医
- 2011年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 修了
- 2011年 東京医科歯科大学 歯学部附属病院 歯周病外来 医員
- 2014年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科歯周病学分野 助教
- 2014年 日本歯周病学会 歯周病専門医
- 2016年 ノースカロライナ大学チャペルヒル校 客員研究員
- 2017年 神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 歯周病学分野 講師
- 2018年 神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 歯周病学分野 准教授

医科歯科連携に向けた口腔と全身の関連検査の実際

神奈川歯科大学大学院歯学研究科歯周病学分野
青山 典生

歯周病と全身の関連が指摘されてから、だいぶ年月が経過した。Periodontal Medicineという概念が提起され、歯周病と全身の関連を取り扱った論文は近年非常に多くなっている。歯周病が口腔だけに留まる疾患ではないということは、一般の人にも広く知れ渡ってきており、医科歯科連携を進める機運はますます高まっていると言える。

歯周病と循環器疾患とは共通のリスク因子が多く、加齢、喫煙や糖尿病がその代表的なものであろう。全身的な危険因子として歯周病が取り上げられている一方で、歯周病と循環器疾患の因果関係は現在のところ証明されるには至っていない。本セミナーでは、現在までに明らかにされている歯周病と循環器疾患との関係について確認していく。

また、医科歯科連携の促進を見据えた診療報酬の改定もいくつか挙げられる。

歯科治療時医療管理料（医管）は、高血圧症や不整脈、糖尿病などの患者に対し、歯科治療時に適切なモニタリングを実施することで算定することができる。総合医療管理加算（総医）は、糖尿病や血液凝固阻止剤を投与中の患者など特に全身状態を確実に把握して歯科治療を実施すべき患者において、医師から情報提供を受けた場合に歯科疾患管理料に対し加算される管理料である。診療情報連携共有料（共情）は、慢性疾患を有していたり全身管理が必要な患者について、別の医療機関から診療情報の提供を依頼した場合に算定できる項目である。これらはいずれも、医科・歯科で医療情報の確認・共有を促進すべく設定された項目と考えられる。

神奈川歯科大学附属病院に新設された医科歯科連携センターでは、歯科的な情報だけでなく歯科と関連の強い医科的項目や身体状態の確認、フレイルやオーラルフレイルの早期発見、医科との連携の活発化などを目的に、検査や診療を行っている。新しい医療機器を導入して患者さんに対し有用な医療情報を提供することで、長期的な健康維持に寄与することを目指している。本セミナーでは、医科歯科連携センターの取り組みを紹介していきたい。